



# 杉山たかひのい ニュース

市議会内 日本共産党市会議員団控室 Tel.35-3368

自宅 西宮市津門仁辺町5-21 Tel.35-1682

団ホームページ <http://nishinomiya.jcp-gi.in.net/>

ブログ <http://yaplog.jp/jcpnishisugi/> (携帯も可)

## 公立高校入試学区拡大案

# 西宮市は阪神・丹波学区に

兵庫県教育委員会は、高校通学区域の統合・拡大を2014年度にも実施を強行しようとしています。

### 全県を5学区に統合

兵庫県教育委員会は6月30日「兵庫県高等学校校学区通学区域検討委員会報告(素案)」を公表しました。

これは、全日制普通科の通学区域を見直し、現行16学区を神戸・芦屋・淡路(19校)、阪神・丹波(29校)、播磨東(20校)、播磨西(20校)、但馬(7校)の5学区に再編。

西宮学区は、尼崎、伊丹、

宝塚、丹有を統合する案になっています。

### 17市町議会が意見書

同報告では、選択肢が拡大される、学区境の近い高校への進学が可能、各学校の特色化が進む、などの効果を上げています。しかし、実際には、受験競争の激化、遠距離通学、中学校の指導に影響、地元の高校でなくなる、など問題が多数生じます。

県下17市町議会から、反対や慎重な検討を求めるなどの意見書が出されています。

県民の合意なしの強行は許されない

子供たちの未来にかかわる問題を、県教委は県下7カ所で説明会を開催しただけ。県民の合意なしの強行は許されません。



## 10月では間に合わない 西宮市説明会

その後、県教委は、要望があれば市町毎の説明会を開催すると通知しました。検討委員会の「最終報告」が10月に予定されていることを考えれば、できるだけ早く開催すべきです。

ところが、西宮市教育委員会は、説明会を直ちに開こうとせず、10月開催を検討しています。これでは、「最終報告」までに、市民の議論、意見を汲み尽くすことはできません。遅すぎます。

県・市の教育委員会は、時間をかけて慎重に議論し、結論を出すという姿勢が求められます。

そのためにも、日本共産党は力を尽くします。

## 西宮市役所が18、19日に午後閉庁

東京電力福島原発事故以降、「原発ゼロ」「脱原発」の声が7、8割に広がっています。一方では、電力不足による節電も広がっています。

7月4日、西宮市は、節電のため8月18日、19日の2日間、午後閉庁を発表しました。これは、関西電力の15%節電要請に応えたもの。市民への影響は大きいといわざるを得ません。

どのように決まったのか調べてみると・・・

6月27日開催の市政調整会議には「閉庁」は議題にはなく、数日間で決まったこととなります。閉庁になれば、市庁舎と一元管理の市議会も当然閉まります。ところが、事前に協力要請もなく、事後報告のみ。もちろん、市民にとっては“寝耳に水”です。市民まつりの前日に大丈夫なのでしょうか。

このような重大な問題は、十分な検討と周知が必要であり、“パフォーマンス”と言われてもしかたありません。仮に良いことであっても慎重な対応が必要です。日本共産党市議団は、「問題あり」として厳しく批判しています。

当日は、正午から市役所本庁舎等が閉庁になります。自動車等の臨時運行許可、住宅用家屋証明、中小企業に対する融資あっせんの3業務は、臨時窓口（市役所2階252会議室）で対応、案内係を配置します。支所・サービスセンターは通常通りの業務を行っています。